

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

### ■施工前のお願い

#### 1 検品について

●納品時に、各部材を必ず検品してください。万一、製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買い求め店までご連絡ください。(施工完了後の色調・木理具合・キズなどによる交換はできません。)

#### 2 取扱いについて

- 運搬・加工時には、キズのつかないようにていねいにお取扱いください。又、開梱状態で直接水がかかったり、直射日光の当る場所に置くことはお避けください。ソリ・ねじれなどの原因となります。
- 水濡れ厳禁…本製品は室内用です。直接水がかかったり、極端に湿度が高い所や土足による使用はできません。
- 階段部材は基材・化粧単板ともに乾燥しており、当部材よりカビ・青ジミはありません。運搬中・施工中での水濡れ・洗い作業で水分を与えまると、基材のフクレや化粧単板の割れ・青ジミなどの発生原因となります。万一濡れた場合は、すぐに乾いた布などでふき取り、乾燥させてから養生してください。

#### 3 躯体の確認

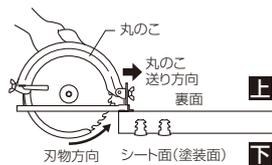
- 階段取付部の柱が垂直となっているか確認してください。又、廻り側板どうしは必ず直角となるように取付けてください。
- 側板・さら桁・親柱などを受ける床下部分には、梁や大引など受け材が必要です。廻り踏板や踊り場の下地にも補強材(現場手配)を入れてください。

### ■施工時のお願い

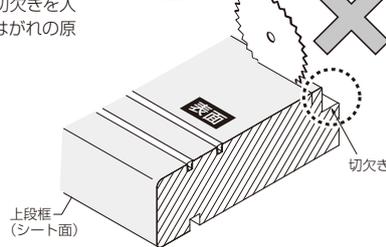
#### 1 切断・加工

- 側板へ段割にしたがって墨出しをしていきます。踏板を大入れにする仕口のきざみを行うときは、あらかじめ表面のササクレ、シートのめくれを防ぐためにカッターナイフなどでけびき処理を行ってください。
- 電動カッター・丸ノコなどを使用する場合、逆目になった方にササクレが起こりやすいので、刃物の進行方向にご注意ください。(図-1の要領でカットしてください。)
- 側板への加工は、深さ10mm以上の大入れ加工をしてください。
- 上段框には12mm厚の床材が納まるよう、あらかじめ切欠きを入れてありますので、表面に切欠きを入れないでください。表面材(シート面)のはがれの原因となります。(図-2)

(図-1)



(図-2)



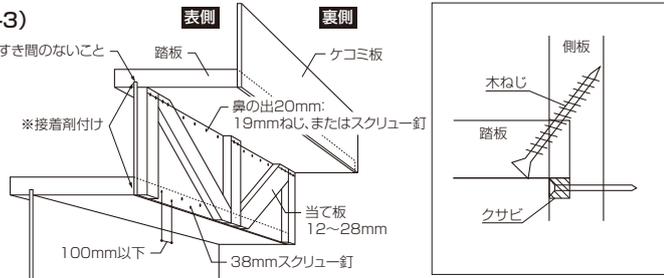
#### 2 取付け

- 躯体(柱)との取付けに、釘・ねじなどを使用する場合は、部材の割れを防止するため、使用する金物径の5~7割のガイド穴をあけてください。
- 部材どうしを接着する場合は、表面を荒らしてから接着してください。踏鳴りや、ガタツキ防止のため、接着剤は「コニシ:ネダボンドW1000」をご使用ください。
- 施工完了後、48時間(接着剤の硬化時間による)は不要な力をかけないでください。接合部の接着不良によるガタツキなどの原因となります。

#### 3 踏板・ケコミ板の取付け(図-3、4、5)

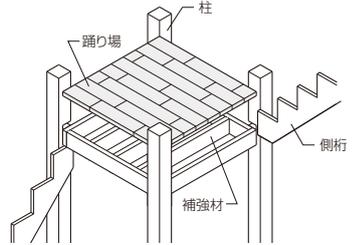
- 踏板のケコミ溝は幅6mmとし、ケコミ板の溝に入る部分に接着剤を付けて、上端にすき間ができないように施工してください。
- ケコミ板上部とケコミ溝との固定は、ケコミ板の溝に入る部分に接着剤を塗布してから押込み、100mm間隔に長さ19mmのねじ、またはスクリーで固定してください。
- ケコミ板と踏板は2面接着剤付けして、踏鳴り防止のために、当て板(合板)で補強・固定してください。
- ケコミ板下部と踏板の固定は、釘打ち部の塗装面をサンドペーパーですりおとして接着剤付けし、38mmのスクリーで100mm間隔以下に千鳥に打ちつけてください。(並べて打つと割れが入りやすくなります。)
- 踏板の側板への固定は、接着剤併用のクサビをすき間のないように入込み、クサビを側板にL=30以上のねじ、または釘3本・接着剤併用で固定します。

(図-3)



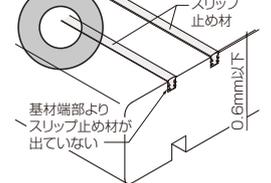
- 踊り場を施工する際は、必ず60×30mm以上の補強材を組上げてください。補強材と踊り場を固定する際には、接着剤を塗布し、下穴をあけてからねじで固定してください。(ねじピッチ303mm以内)

#### (踊り場補強材の例)



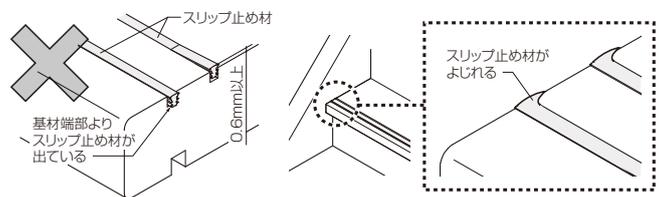
- 踏板、上段框、廻り踏板を側板大入れ加工にはめ込む際は、スリップ止め材の寸法が0.6mm以下であり、基材端部よりスリップ止め材が出ていないことを確認してから施工してください。(図-4)

(図-4)



※スリップ止め材の寸法が0.6mm以上だったり、基材端部よりスリップ止め材が出ている状態で施工した場合、スリップ止めがよじれる可能性があります。必ずスリップ止め材を0.6mm以下に押し込み、又端部から出ている場合はカッターなどでカットしてから施工してください。(図-5)

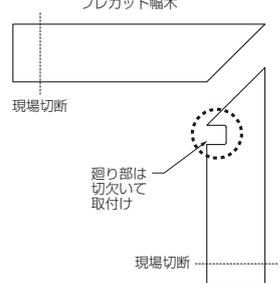
(図-5)



#### 4 幅木の取付け(図-6)

- 幅木の取付けは接着剤を塗布し、かくし釘で固定します。
- プレカット幅木使用の場合は端部を必要長さに切断してください。廻り部のプレカット幅木は、廻り角度に合わせて段鼻部を切欠いて取付けてください。

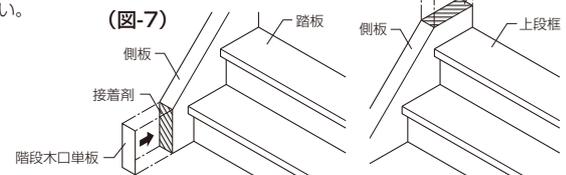
(図-6)



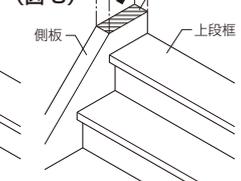
#### 5 木口単板の張り方(図-7、8)

- 側板には階段木口単板が同梱されていますので、側板の木口露出部分に単板を合わせてカットし、市販の速乾性接着剤で両面接着してください。

(図-7)



(図-8)



### ■施工後のお願い

#### 1 養生について

- 施工後は、木屑や砂・ゴミをきれいに取除いて、養生シートおよびベニヤ又は養生カバーなどですき間なく養生してください。養生シートの固定に市販のガムテープなどを利用しますと、粘着力が強く、表面化粧および塗膜のはがれの原因になりますので、必ず当社指定(別売り)の養生テープをご使用ください。
- 養生テープを張り、はがす際は表面の着色が取れたり、養生テープの糊面が残らないようゆっくりはがしてください。なお、集成タイプの踏板や笠木の裏面には養生テープを張らないでください。着色ははがれるおそれがあります。

#### 2 補修について

- 下記の補修材を有償部品にてご用意しています。  
◎リビング建材補修キット ◎補修液 ◎補修用ウッドパテ  
詳細はカタログをご確認ください。

#### 3 ワックスについて

- 階段にはワックスを使用しないでください。